



～ 新しい年も、皆さまと心通わせて ～

館長 由良 芳子



新しい年を迎えました。今年の9月で当図書館は14歳を迎えます。地域の皆さま、全国の会員の皆様方に応援いただいて年を重ねて参りました。感謝の気持ちでいっぱいです。左の写真の新年飾りも地域の方の応援の一つです。年末のお忙しい中を届けてくださり、ありがとうございます。文化会館のウィンドウは駅からも見える位置にあり、道行く人にも明るい話題を提供しています。

次に右の写真は、絵本作家さいとうしのぶさんより寄贈のシャドーボックス(タイトル『おやすみまえに』原画:さいとうしのぶ、シャドーボックス制作:春名公子、額制作:春名克明 敬称略)です。図書館に入った正面に飾っています。タイトルからいろいろと想像を巡らせて、おはなしを作ってください。心が温かくなりますよ。ありがとうございました。

このように、皆さまに支えられ、心通わせて、今年も歩んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



秋～初冬はイベントが盛り沢山でした!!



駅舎 DE ハロウィン(2023.10.29)



大人のための読み聞かせ
(2023.11.2)



歴史探訪研修会(2023.11.23)



ボランティアフェスティバル
(2023.11.25)



出前・読み聞かせ(2023.12.6)
浜寺東ふれあい子育てひろば



クリスマスお楽しみ会(2023.12.21)

『わたしのお気に入りの一冊』

ご自分のお気に入りの一冊を紹介し合うコーナーです。



書名『だてだてのおばあさん』 著者: さのようこ (フレーベル館)
紹介者: 後藤純子さん (熊本県)

佐野洋子さんの作品では、「100万回生きたねこ」や「おじさんのかさ」がよく知られていますが、今回は私の大好きな『だてだてのおばあさん』を紹介いたします。ケーキを作るのが上手な98歳のおばあさんと元気でやさしいねこが、仲良く暮らしていましたが、おばあさんの99歳のお誕生日にある出来事が起こりました。そしてその事がきっかけでおばあさんは何と5才になりました。子どもの心を持ったおばあさんです。

私は子育てで真っ最中の時に、この本に出会いました。思う様にいかないことが多く、「だてだて」と不満ばかり言っていた時に、この本は、少し見方や考え方を変えたり、工夫をしてみても教えてくれました。私が子どもだったらどうしたらだろうと考えると何となくワクワクして楽しくなったものでした。そして今でも、年取ったからとか、元気が出ないからとか、「だてだて」続行中の私にとって大切な本です。とにかくやってみては！なんとかなりますよ！といつも言われ、背中を押されている気がします。何かをしてみたいけれども「でもでも、だてだて」と悩んでいる方には是非お勧めしたい本です。

— 前号に続き、浜寺小学校卒業生からのボランティアをしての感想を紹介します。 —

4 つのや図書館のボランティアに参加してみた 黒田 詩織

「家でダラダラするぐらいなら図書館手伝ったらどうや？」と言われたのが始まりだった。私は浜寺小学校の卒業生である。専門学校を卒業後、定職につかず半年ほどボケッと過ごしていた中で母に言われた。何もすることも無かった(あっても性格か体質なのか先延ばしてしまう)し、本を読むのも好きだったため参加することに決めた。

私は木曜日の午後4時から5時の閉館までの1時間を担当している。利用者は子供が多く、来館者の貸し借りが終わったらテーブルや椅子を片付け、掃除をして帰宅する。たった1時間の仕事だが結構楽しい。とくに昔読んだことのある本があると思わず読んでしまったり、名前だけ知っている本もここに来れば読みかけになった。

人との交流もまた楽しい。相手が求める本と一緒に考え見つけ出したときは嬉しいことこの上ない。こんな自分でも人の役に立てたと思える。また、利用者である子どもたちとの交流もあり、その子たちの好きな本を聞くことで新たな作品との出会いに繋がる。そのほとんどが絵本だが、中には感情を揺さぶるものや緩急があって面白いものもあり、自分が子ども時代に読んでいなかったのが悔やまれると思えるほどである。

ハッキリ言って私は恵まれている。誰か(今回は母)が提案したことに乗ってみると案外楽しいもので、部屋でグズグズとしているよりよっぽど良い。

ボランティアに参加して何か劇的に変わったということはない。ただ心の澱を押し流すような本との出会い、人との出会いがあったと思う。それがやがて、一步を踏み出す力になると私は強く願っている。

お知らせ

◎大人のための読み聞かせ

日時: 1月18日(木) 11:00~
3月7日(木) 11:00~

◎絵本講話

『絵本作家の思い～絵本の隠された面白さ』(仮)
日時: 2月28日(水) 10:30~
講師: 家近 伊作氏
(堺市西図書館館長代理、絵本専門士)

◎春のお楽しみ会

日時: 3月21日(木) 14:30~15:30
かんちゃんやってくる!(腹話術) 足立 朋子氏

いずれも

※場所: はまでら 4 つのや図書館
※申込不要参加無料

俳句ができたよきらり十選 九十三号
兼題「毛糸」
令和六年一月十日

次回(三月)の兼題は「雀(すずめ)の子」
* 投句締切 二月七日(水) または自由

- 祖母のそば猫はむれし毛糸玉 幹子
- 暇つくり毛糸のベスト編みにけり 直子
- 目数えて望み託して毛糸編む 勝義
- 毛糸玉母のおもかげなつかしや 昭義
- イニシャルに想ひ託して毛糸編む ひとみ
- 毛糸玉猫のやさしい友となり コウ子
- 縁側の日差し背に受け毛糸編む 勝子
- 想い出を紡ぐが如し毛糸編む 雅
- 児をまねる毛糸の指編み画面越し 文浩
- 休むこと多き左手毛糸編む 忍
- 思ひ出は残り毛糸と棒針に 芳子

2024年1月・2月・3月の開館日時

どなたでもご利用いただけます。

◎水曜日14時~17時
1月: 3日休・10日・17日・24日・31日
2月: 7日・14日・21日・28日
3月: 6日・13日・20日休・27日

◎木曜日10時~17時
(第2・第4木曜日 12時~)
1月: 4日休・11日・18日・25日
2月: 1日・8日・15日・22日・29日休
3月: 7日・14日・21日・28日

2023年度 NPO 会員募集

2023年4月~2024年3月の会員を募集しています。図書館でも受け付けます。

ご支援よろしくお願い致します。
協力会員 10,000円/年
賛助会員 10,000円/年
正会員 10,000円/年

口座名: NPO 法人はまでら 4 つのや図書館
◎ゆうちょ振込先 00950-9-171544
* 払込票にご住所・お名前・お電話番号・
会員種類をご記入のうえ、できるだけATMで
ご利用ください。
◎楽天銀行 支店番号 253
普通 7225222
* お名前の後に会員種類をご入力ください。

↑なんば方面
204
南海本線
↓和歌山市駅 関西空港駅方面

はまでら4つのや図書館

公式LINE →

URL yottunoya-library.com
Mail yottunoya@hotmail.com

所在地: 〒592-8348 堺市西区浜寺諏訪森町中1丁 103-1(浜寺校区文化会館内) 南海本線諏訪ノ森駅東側線路沿北へ

連絡・・・<警報(大雨、暴風、地震、津波、他)が発令されたときは、図書館は休館します。>

2024.1月の新着本より

当月の新着本のリストと紹介文の一部は図書館受付に掲示しています。ホームページにも掲載しています。

2024.2月の新着本より



ふじさんにつぼんいち！ 佐野 充(監修)/峯村 温(写真)

日本一高く美しい山として知られている富士山ですが、実際はどのような山なのでしょうか。本書では、そこに生息する動物や植物をはじめ、高度によって変わる風景、四季の変化、山の成り立ちなど、さまざまな角度から富士山を紹介していきます。

でんしゃでいこう でんしゃでかえろう 間瀬なおかた



プラレールのような観察と体感を絵本に電車の楽しさを一編に凝縮した乗り物好きなお子さんにお勧めの絵本です。電車は広い雪の積もる景色の中を通り抜けながら、穴あき仕掛けのトンネルに入ります。トンネルの中では乗客の様子がはっきり見ることができるため、電車に乗ってから降りるまでのそれぞれの家族の行動を楽しめます。

キッチン・テルちゃん なまけもの繁盛期 堀川アサコ

会社を辞めて無気力に過ごしていた 28 歳の菊池亜美はキッチンのアルバイトを紹介される。豪胆な店主・テルちゃんに気に入られて採用された亜美は、一癖も二癖もある町の人たちと親交を深めていく――。

教室に並んだ背表紙 相沢沙呼

「わたしは欠陥品なのかもしれない。自分が大人になれるって、無条件で思い込めるみんなが、羨ましい」(本文より)
中学校の「図書室」を舞台に、クラスへの違和感や未来の不安、同級生に対する劣等感など、思春期の心模様を繊細に描き出す全六編の連作短編集。

喫茶おじさん 原田ひ香

人生もコーヒーも、苦いけれどうまい。松尾純一郎、バツイチ、57 歳。大手ゼネコンを早期退職し、現在無職。妻子はあるが、大学二年生の娘・亜里砂が暮らすアパートへ妻の亜希子が移り住んで約半年、現在は別居中だ。再就職のあてはないし、これといった趣味もない。ふらりと入った喫茶店で、コーヒーとタマゴサンドを味わい、せっかくだからもう一軒と歩きながら思いついた。趣味は「喫茶店、それも純喫茶巡り」にしよう。東銀座、新橋、学芸大学、アメ横、渋谷、池袋、京都――「おいしいなあ」「この味、この味」コーヒーとその店の看板の味を楽しみながら各地を巡る純一郎だが、苦い過去を抱えていた。妻の反対を押し切り、退職金を使って始めた喫茶店を半年で潰していたのだ。仕事、老後、家族関係……。たくさんの問題を抱えながら、今日も純一郎は純喫茶を訪ねる。



バスが来ましたよ 由美村嬉々/松本春野

進行性の目の病気から全盲になった男性・山崎浩敬さんの実話を元に絵本化。地元の小学生に助けられながら続けた、バス通勤。「バスが来ましたよ」その声はやがて、次々と受け継がれ……。小さなひとこと、小さな手。でも、それは多くの人の心を動かした。小さな親切の物語。

トミカとトム ぼくのたんじょうび つむパパ



はこを あけると……
なにが でて くるかな？

主人公はくまのぬいぐるみ、トム。男の子が寝ている間に枕元に置かれたプレゼントを、自分のものだと思って開けてみたら、たくさんのトミカの箱が！ トムはひとつひとつその箱を開けて、トミカに乗りこみます。寝静まった夜、トミカが好きな子のお家で起こっているかもしれない、素敵な物語。

続 窓ぎわのトットちゃん 黒柳徹子

【本書の内容】
・東京大空襲の数日後、青森を目指して、ひとり夜行列車に乗ったトットを待ち受けていた試練とは？
・「おめえのジンジョッコ、描いてみる」。疎開先の学校で、みんなとなかよくなりたいたトットが、考えついた方法とは？
・「咲くはわが身のつとめなり」の言葉を胸に、トットが通った女学校や音楽学校の思い出は、映画、オペラ、ラーメン、それから？
・「そのままでもいいんです」。NHK の専属女優になりたての、トットが救われた一言とは？
・アルバムからお借りした写真や、いわさきちひろさんの絵もたっぷり。

夜明けのすべて 瀬尾まいこ

PMS (月経前症候群) で感情を抑えられない美紗。パニック障害になり生きがいも気力も失った山添。友達でも恋人でもないけれど、互いの事情と孤独を知り同志のような気持ちが芽生えた二人は、自分にできることは少なくとも、相手のことは助けられるかもしれないと思うようになり、少しずつ希望を見出していく――。人生は苦しいけれど、救いだってある。そんな二人の奮闘を、温かく、リアルに、ときにユーモラスに描き出し、誰もが抱える暗闇に一筋の光を照らすような心温まる物語。



伝記を読もう やなせたかし 中野晴行

まんがに、絵本に、詩に、音楽に……。絵本やアニメになった「アンパンマン」、みんなに知られる童謡「手のひらを太陽に」など、たくさんの作品の作者・やなせたかしは、多くの仕事で人々を喜ばせてくれました。でもその人生は、出会いと別れのくりかえしだったのです。作品に家族のこと、戦争のこと、やなせたかしの悲しみと喜びの人生を紹介します。

5年1組ひみつだよ 吉野万理子/佐藤真紀子



今日はだれの「ひみつ」を読もうかな？ クラスメイトたちの短いお話 15 コ入り！
――「短編小学校」は、ある学校の、あるクラスに通う子どもたちを主人公にした、短編集です。1話読み切りで、どの話から、だれの話からでも楽しめるけれど、全部読み終わってみると、あの子がここにもいたり、この話の子があそこにもいたり……。ページをめくれば、まるでとなりの席の子とないしょ話をするような、新感覚の読書時間が始まります。

ウォールデン 森の生活 上・下 ヘンリー・D・ソロー/今泉吉晴

「人は1週間に1日働けば生きていけます」。ヘンリー・D・ソローは、1800年代半ば、ウォールデンの森の家で自然と共に2年2か月間過ごし、自然や人間への洞察に満ちた日記を記し、本書を編みました。邦訳のうち、小学館発行の動物学者・今泉吉晴氏の訳書は、山小屋歴30年という氏の自然の側からの視点で、読みやすく瑞々しい文章に結実。文庫ではさらに注釈を加え、豊富な写真と地図とでソローの足跡を辿れます。産業化が進み始めた時代、どのようにソローが自然の中を歩き、思索を深めたのか。今も私たちに、「どう生きるか」を示唆してくれます。

ストロベリー戦争 弁理士・大鳳未来 南原詠

大震災からの復興を目指し、新品种「絆姫」の開発に成功した久郷いちご園。そこに、大手商社の田中山物産から絆姫の名称は、商標権侵害との警告書が届いた。さらに、クリスマスケーキに絆姫を使用することが決定している世界的パティスリー「カリス」から、名称変更せずに解決か、全被害額を支払うかを迫られる――。大手商社という巨大な敵から、いちごの名称と農家たちの熱い想いを守るため、弁理士・大鳳未来は驚天動地の策に出る！

わくわく でんしゃしゅっぱつ 視覚デザイン研究所/くにすえ たくし



けんたとお母さんは電車に乗って、やまのおじさんの家まで行きます。最初に乗る電車は『うみのえき』行き、みどりの電車です。踏切を通るときはゆっくりと。わーい窓の外にみんなが見える「バイバイ！ バイバイ！」窓ガラスが音を立てて急行列車とすれ違います。シュポッ！！
大きな河では貨物列車や新幹線と並んで鉄橋を渡ります。モノレールを追い越します。1冊読み終わると、ちょっと旅したような気分になれるそんな見所がいっぱいです。

おひなさまのいえ ねぎし れいこ/吉田朋子



真夜中のひな人形のお店で、おひなさまの声がします。「わたしたちだけになっちゃったわ」「こうしちやいられないよ」売れ残ってしまったおひなさまたちは、住む家を探しに出ました。でも、けしがいたり、五月人形が住んでいたり……。なかなか空いている家は見つかりません。そこに流しびながやってきて、いっしょに川くだり。そして、見つけたのは、ぼろぼろの古い家。さあ、おひなさまたちはどうするのでしょうか…。自分たちの住む家は自分たちで探そう。元気なおひなさまたちのおはなしです。

新装版 戦いすんで日が暮れて 佐藤愛子

『九十歳、何がめでたい』の原点。弱気な夫と、巨額な借金を背負い込んで奮闘する妻を、独特のユーモアとペースで描く直木賞受賞作。ほかに『ひとりぼっちの女史』『佐倉夫人の憂愁』『結婚夜曲』などの傑作短篇7篇、新装版あとがきを収録。

やがて訪れる春のために はらだみずき

入院中の祖母から、庭の様子を見てきてほしいと頼まれた村上真芽(まめ)。彼女が目にしたのは、荒涼とした景色だった。花が咲き誇った庭に、しっかり者の祖母に、いったい何が起きたのか？ 庭を復活させようとする真芽は、怪しげな隣人や家の売却計画など様々な困難に直面するが、幼なじみたちの力を借りながら奮闘する。バラ、クレマチス、ミントなど植物が彩る庭を舞台に描く、あなたのための物語。

※版元ドットコム、Amazonより引用しています